

# 大根の雨乞い

雄国五郎

ボクの病んだ胸の中は 泥のついた細い根が張り巡って  
白太りは日に日にのさばっていた



ミニ畑の大根

それは街中のデモ集団みたいにふくれあがった  
だが 地上の青葉の勢いはどうだ  
安物の牛糞と化成肥料を二度ばらまいただけなのに  
ボクの身体は畝の中に這いつくばっている  
排泄物が溜まるばかりだ  
大雨が降るのを十日以上も待っている

井戸端の人たちも 空身のバケツや手桶をもってみんな立ち去った  
空っ風が運んだゴミや落ち葉を畝間に押し込んで  
育ちすぎのうなだれた葉に  
数滴の水もかけずに  
それに背を向けて 小便でも掛けたいが  
生憎 下腹部ばかりが膨張して息苦しいのだ

# 人殺し

## 雄国五郎

人はなぜ人殺しをするのだろうか  
同じような格好をしているが 外側も内側も違う



アウシュヴィ  
ッツ収容所

衝突すると  
なんでもな  
い石ころみ  
たいに音を  
立てて  
あっちこつ  
ちへ無関係  
に跳ね返る  
そのくせに  
羽根と羽根  
をすりあわ  
せて 思い  
がけない音  
を出すのだ。  
「憐れ」と思  
えば カバ  
の集まりに

なる

草地の象が河のカバを恐れて

興奮している

様子を見たことがある

戦争はそうして起こったのだろう

「違う」ってことは 何だろう

「同じ」だったら怖くて 争いが絶えまい

何万年も前から 何を取り違えてきたのだろう

取っついたら離れないものは何だろう

そんな怖いものは 何だろう

アウシュヴィッツ収容所で 130万人

南京大虐殺は 27万人

広島で人口 35万人のうち アメリカの原爆投下

で 14万人

長崎で人口 14万人のうち アメリカの原爆投下

で 7万人 が死んだ

津山事件では 1人の男が 30人を殺した

人殺しには 近寄らないのがいいのだが